



## 本県における上水道施設の耐震化の状況について (令和4年度末時点)

令和4年度末時点における県内上水道施設の耐震化（耐震適合）率を調査した結果、次のとおりでしたのでお知らせします（本日（3月22日14:00）厚生労働省がプレスリリース）。

### 1 耐震化（耐震適合）率

県内における上水道施設の耐震化（耐震適合）率は、**浄水場が65.2%（全国7位）、配水池が71.7（同9位）%、基幹管路が33.6%（同33位）**でした。

区分	本県			全国平均			R4年度末 全国順位 (R3年度末)
	R4年度末 (%)	R3年度末 (%)	増減	R4年度末 (%)	R3年度末 (%)	増減	
浄水場	65.2	65.2	±0.0	43.4	39.2	+4.2	7位(6位)
配水池	71.7	71.5	+0.2	63.5	62.3	+1.2	9位(9位)
基幹管路	33.6	32.9	+0.7	42.3	41.2	+1.1	33位(34位)

2 耐震化（耐震適合）率の増減について、主たる要因は次のとおりです。

(1) 配水地【対前年度比0.2ポイント増】

〔西条市において、施設更新を実施したことによる。〕

(2) 基幹管路【対前年度比0.7ポイント増】

〔松山市、新居浜市、砥部町等において、積極的に耐震化工事を実施したこと等による。〕

3 浄水場及び配水池の耐震化率は、全国的にも高水準にある一方、**基幹管路の耐震適合率は、以下の理由を背景に低水準にとどまっている。**

- 浄水場や配水池の耐震化を優先している市町が多いこと
- 山間部等に小規模な集落が点在し、施設の集約化等が困難なこと
- 市町の財政状況が厳しいこと 等

このため、県では、各市町等に対して、耐震化に係る補助金の活用や耐震化計画策定の促進等、限られた財政の下でも水道施設の耐震化における効率的かつ効果的な整備を進めるよう、適切に助言していきます。